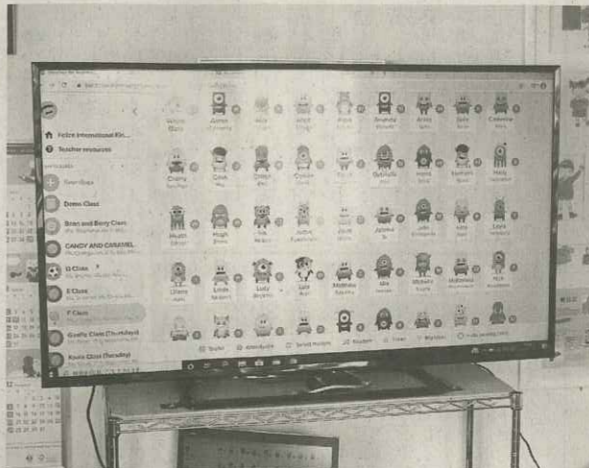


医療・福祉

在宅園児に向け授業動画配信

好きなアバターで参加 認定こども園フェリッチェ国際こども園



画面には参加する園児のアバターが映し出されている

認定こども園フェリッチェ国際こども園(佐波郡玉村町飯塚、田村優子園長)は、新型コロナウイルスによる登園自粛要請を受け、在宅の園児に向けた授業動画を配信している。

登園自粛要請の結果、約200人の園児のうち、登園するのは約50人となっている。これを受け、園児が自宅で英語や工作などが学べ、遊びもできるような授業動画の配信を始めた。幼児教育現場での遠隔授業の実施は全国でも珍しいという。

使用しているシステムは、アメリカの「CLAS DOJO」という教育機関に無償配布されているソフト。園児はウェブ上の好きなキャラクターのアバターを選んで授業に参加でき、こども園はどの園児が参加しているか一元管理できる。今回の配信に当たり、保育士が授業動画の講師、撮影、編集まですべて担当。4月5日のスタート以来、約5分ほどの動画が毎日5本ペースでアップされている。サイト内はIDとパスワード

コロナ用防護シールドを販売

群馬電機 社内用を商品化

群馬電機(みどり市大間々町大間々、西村稔社長)は1日、新型コロナウイルス対策用の「飛沫(ひま)防護シールド」の販売を開始した。

同商品は飛沫感染リスクの軽減を目的としたアクリル製のパーテーションで、テーブルなどに置き接客するときの飛沫の拡散を防ぐもの。下部カーテンから書類の受け渡しも可能。

支柱・脚部はアルミニウム、シールド部がアクリル樹脂、カーテン部は塩化ビニール樹脂。高さは65センチ、横幅は50センチから120センチまで8種類用意した。価格は税込1万3200円から200円かかる。

社内の打ち合わせコーナー用に製造し、4月から応接時に活用していた。それを見

多くの要望を受け商品化を決めた

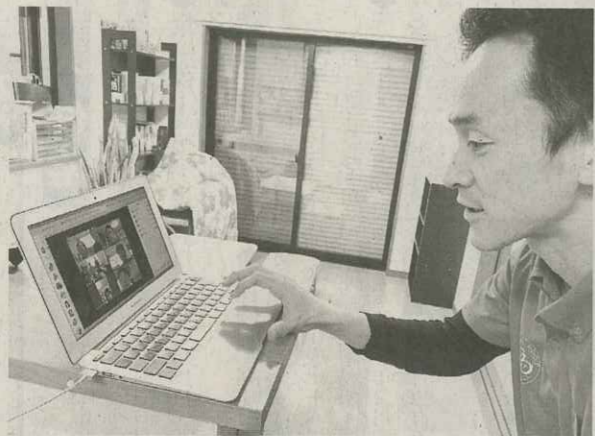


いるという。保護者からは「外出回から参加者が埋まっても、遠隔での指導という点では、今後怒りっぽくなっている状況の解消につながっている」と好評だ。

同法人理事でスポーツトレーナーの吉田大祐氏は「生活の乱れを

正したいのか、朝早いから参加者が埋まっても、遠隔での指導という点では、今後怒りっぽくなっている状況の解消につながっている」と好評だ。

同法人理事でスポーツトレーナーの吉田大祐氏は「生活の乱れを



参加者を確認中の吉田トレーナー

子供の運動指導などを手掛けるNPO法人ソーシャルグッド(高崎市東員沢町、吉田恵美子代表理事)の新しいサービス「オンライン「ゴキッズ」」が人気だ。パソコンやスマートフォンから遠隔会議アプリ「Zoom」を使って自宅でもトレーニングが受けられるものだ。新型コロナウイルスの影響で小学校などが休校となり、子供たちも外出自粛が続いて

Zoomで小学生に自宅トレ指導

NPO法人ソーシャルグッド

同法人では子供の運動不足の解消ができないかとの相談を受け、オンラインによる運動指導を4月中旬からスタートした。

画面越しにスポーツトレーナーが指導するもので、最大6組まで参加することが可能。20分程度の跳ねられるスペースがあれば利用できる。

トレーナーが約50種類の運動プログラムから、参加者の年齢や参加回数などに合わせて選んでいる。1こま30分で税込500円。1日1〜4回コースが開設されている。これまでに26人が登録し、1日平均7人が参加して



Zoom上での参加者の様子

「生活の乱れを正したいのか、朝早いから参加者が埋まっても、遠隔での指導という点では、今後怒りっぽくなっている状況の解消につながっている」と好評だ。

同法人理事でスポーツトレーナーの吉田大祐氏は「生活の乱れを

新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が出され、そして自粛を求められていることもあり、経済活動にも大きな影響が出ています。群馬県内のかかりの会社が影響を受けてしまっているのはないでしょうか。

持続化給付金の申請も始まり、私の周りの多くの社長さんがオンライン申請を始めました。持続化給付金とは、売り上げが前年同月比で50%以上減少している法人や個人事業主に対して、法人は最大200万円、個人事業主は最大100万円を支給する給付金です。自粛の影響で何を閉めざるを得なければ前年同月比で半減することもあり得ますし、この給付金はとてもありがたいです。そして、雇用調整助成金はさらなる緩和がされました。現在完全に会社や店舗を一時は従業員をローテーションで休ませたりするところが増えてきてい

社長相談室⑫

中小企業・県知事からの件を受ける等、業手当全体の

経営者のお悩み 解決します

商品化の要望を受けて販売に乗り出したもの。すでに部品会社や運送会社への納入が決定している。今後はホームページなどでPRするほか、介護施設などにも積極的に提案していきたいという。

(山田誠二)

最新医療機器を導入 患者のあらゆる症状に対応

コロナパンフ配布 県医師会 群馬県医師会(須藤英仁会長)はこのほど、施設での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、パンフレット「施設における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止

設での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、パンフレット「施設における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止

師会と関係22団体に送付する。同パンフレットには「感染防止のための基本的な対策」「クラスター

授業動画は保育士の手作り